

デジタル時代の著作権協議会（CCD）
平成25年度第1回著作権ビジネス研究会

議事要旨

日時：平成25年9月9日（月）10：30～

場所：CRIC 会議室

議題1：【講演】

「総務省における放送番組流通円滑化に向けた一連の取り組みについて」

講演者：総務省 小笠原陽一氏

議題2：質疑応答

議題3：その他

議長：主査・椎名和夫

記

椎名著作権ビジネス研究会主査が議長をつとめた。

議題1.（講演）「総務省における放送番組流通円滑化に向けた一連の取り組みについて」
総務省情報流通行政局情報流通振興課長 小笠原陽一氏より

総務省における放送番組流通円滑化に向けた一連の取り組みについて説明がなされた。

放送などの新たなコンテンツ市場の開拓に向けて権利処理の効率化とその他具体的方策を検討するための「放送コンテンツ流通の促進方策に関する検討会」が昨年11月から半年間にわたり開催された。これに基づき、本年8月23日には、①海外転換に関する参加者の共通目的、目的実現に向けたアクションプラン策定、②アクションプランに基づき、海外展開に関する事業を行う者に対する総合的な支援、③海外展開に資する、対象候補国等に関する調査を目的とする一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構が設立した。ここに至るまでの過程と、総務省の権利処理に対するスタンスの一端について説明がなされた。

議題2. 質疑応答

参加委員からは、放送コンテンツの海外展開を促進する上で、実演家との協力関係がさらに必要であること、また海外における日本文化のPRや、そのための受け入れ態勢が必要ではないかなどの意見があった。

また、小笠原氏からは、実務的な面において、「マイナンバー制度」のうち「公的個人認証サービス」により、今後の利用方法によっては権利処理の効率化も図れるかもしれない、また使い方やニーズを実演家団体や権利者団体から意見を挙げていただきながら有効活用に向けて検討を進めていきたいとのことだった。

このほか、今後の展望等、さまざまな視点から意見が交換された。

議題3：その他

特段の検討事項はなし。

以上